

令和 6 年度

「運営に関する計画」  
中間評価



大阪市立平林小学校

令和 6 年 11 月 22 日



## 学校経営計画(案)

令和6年 4月 1日

大阪市立平林小学校  
校長 山口 博 功

### < 学校組織目標 >

自分で考え解決できる力を養い、他者を尊重し、創造性に富む人間性の育成

### < 学校運営の具体的な行動手段 >

チーム学校・教科担任制・地域に開かれたカリキュラム

【 課題の概要と重点目標 】 チーム学校にもとづく組織づくりをめざす

#### ① 基本的な生活規律の確立(安全・安心な教育の推進のめあて「あいさつ」「時間」「掃除」)

あいさつや言葉遣いに重点をおいた指導 ルールを守る大切さを朝会や学級等で注意喚起

- ・朝の登校指導、あいさつ週間の指導、児童会活動「あいさつ運動」、学級での取り組み
- ・看護当番体制や登下校見守り週間 登校時や休憩時間の過ごし方を各学級活動で徹底
- ・言葉遣いで、相手を傷つける言葉遣いが原因で、トラブルやいじめ事案につながる事例

安全・安心な指導体制 ルールを守り規範意識を育成してきた規律を持続可能にする

- ・家庭環境等で遅刻をする児童に「時間を守る」大切さの指導と「自立」を促す等の支援
- ・民生委員や区役所子育て支援室と連携を密にし、行政と協働した保護者への細かな支援
- ・「学校安心ルール」に基づき、児童理解と保護者への連絡を最優先にした指導体制

道徳の授業や人権教育の充実 命の大切さを学び、児童の自己肯定感や自尊感情を醸成

- ・たてわり班活動で高学年の持つ潜在能力とリーダーシップを発揮・相手を思いやる心
- 校内美化・環境整備 運動場の芝生や学習園の整備、教室環境の改善など学習環境の整備
- ・児童会「たてわり清掃」・学校を大切に思い、ものを大切に扱う気持ちを育てる

#### ② 教科等横断的な視点でカリキュラムを充実(未来を切り拓く学力・体力の向上)

児童につけたい「力」を明確に示す 教科等横断的な「独自のカリキュラム」を年間で実施

- ・情報活用能力や言語能力などの「非認知能力」として児童の持つ潜在能力を引き出す
- ・年間を通して10年先の予測困難な社会で通用する「生きて働く力」を身につけさせる

「主体的・対話的で深い学び」の授業改善 「できた・わかった」と実感できる授業づくり

- ・重点支援校4年目、授業支援・学力分析・研修会・SAの支援等での授業力の向上
- ・メンター研修会の実施・学びコラボレーターの支援によるテクニカルスキルの向上

高学年への教科担任制の導入 教科担任・特別支援担当・学習サポーターによる協働体制

- ・きめ細かな指導を実施し、どの児童に対しても等しく指導ができるように連携を工夫
- ・「個別最適な学び」等、児童が安心して学習できる授業形態の工夫や環境の整備

基本的な学習習慣の定着 週2回の英語・週1回の読書タイム・漢字検定の実施

家庭学習の習慣化 毎日の宿題の習慣化と点検 学校だよりや懇談を通じて推進

年間を通じた運動能力向上のための取り組み なわとび週間・かけあし週間など

健康・衛生面の意識の向上 「手洗いがんばり週間」 給食食育指導で保護者へ啓発

#### ③ ICT機器の積極的な活用による教育DXの推進(学びを支える教育環境の充実)

学習者用端末・デジタル教科書等を活用 全校でICT機器の充実や校内研修を進める

しなやかな組織づくり 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を増やす

- ・本市「働き方改革推進プラン」の教員の勤務時間に関する基準を満たす職場環境づくり

読書活動の充実 読書ノートの活用と「平林んぶん」の部屋等、新聞に触れる機会の充実

- ・学期に1回の学級図書の貸出、読書推進委員会の読書ノート目標冊数の向上

さざんか平林協議会と協働してカリキュラムをつくる PTA組織のネットワークづくり

- ・保護者参加の水鉄砲大会・餅つき大会等の企画を「総合的な学習の時間」で実施

地域・行政との連携 花ボラ活動・人権の花・読み聞かせ・踊りの練習・地域清掃など

大阪市立平林小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

令和 6 年度学校運営の具体的行動として「チーム学校×教科担任制×地域に開かれたカリキュラム」に設定し、教職員がめざす学校組織目標「自分で考え解決できる力を養い、他者を尊重し、創造性に富む人間性の育成」、児童がめざす学校教育目標「全学年仲良く明るく楽しく、勉強も遊びも全力で取り組む学校」を掲げ、めざす学校像「夢や希望を持ち、たのしく学び、遊び、語りあえる学校」、めざす子ども像「やる気のある子」「やりとおす子」「たすけあう子」を基盤とした運営を実施する。

「生活規律の徹底」をめざし、今年度も「挨拶」「時間」「掃除」の 3 点をめあてとする。児童の課題を把握し、生活規律向上のための行動支援について工夫・深化・充実させる。

**現状と課題**

**【安全・安心な教育の推進】**

- ① 基本的な生活規律の確立のため、あいさつや言葉遣いに重点を置いた指導を行っている。朝の登校指導や「あいさつ週間」の指導、児童会活動の「あいさつ運動」、各学級での取り組みにより、一人ひとりの児童に心を込めてあいさつをすることへの意識が高まり、主体的にあいさつができるようになってきている。看護当番体制や登下校見守り週間を実施し、登校時や休憩時間の過ごし方の指導や看護の徹底を図る。また、言葉遣いについては、多くの子どもたちがその場にあった話し方ができるようになってきている。相手を傷つける言葉遣いが原因で、トラブルやいじめ事案につながる事例もある。今後もあいさつの励行や相手の気持ちを考えた正しい言葉遣いについては、全校朝会や学級経営を通じて、注意喚起していくことを継続的に進める。
- ② 安全・安心な学校生活を過ごすためには、ルールを守ることの大切さを丁寧に指導し、規範意識の育成に努めてきた。その結果、チャイムの合図や遊びのルール等については、多くの児童がルールを守ることができている。家庭環境等により登校時刻を守れない児童には「時間を守る」ことの大切さに触れ、児童の自立を促すなどの支援を進めていくと同時に、民生委員や区役所と連携を密にし、学校と行政が協働して保護者への支援を行う必要がある。「学校安心ルール」に基づき、児童をよく理解し、保護者への連携を最優先に行いながら、規範意識を育成してきた生活規律を持続可能にする。
- ③ 「たてわり班活動」で、週 1 回の児童集会、清掃、学校行事などの特別活動に取り組むことで、異学年交流が深まり、相手を思いやる心の育成が図れている。高学年の児童の持つ潜在能力とリーダーシップが発揮できる機会を創り出す。また、道徳の時間を中心に一人一人の違いを認め、互いの人権を尊重することの大切さを学ばせてきた。その結果、いじめや仲間外れについて、より深く考える児童が増えている。道徳教育や人権教育の充実を図り、命の大切さを学び、自己肯定感や自尊感情の醸成をめざす。
- ④ 運動場の芝生や学習園の整備、教室環境の改善など学習環境の整備に努めるとともに、児童が校内美化に関心を持ち、協力して学校を美しくしようとする態度を育てる。そのために、普段の清掃活動以外で児童会が主体的に「たてわり清掃」を実施している。校内美化・環境整備について、継続して行うことで、自分の学校を大切に思い、ものを大切に扱おうとする気持ちを育てる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 学級経営の特色として、児童にどのような「力」をつけたいのかを明確に示し、教科等横断的なカリキュラムとして、教科・行事・学活など一年間を通して「独自のカリキュラム」としてプログラムを実施し、授業での思考力・判断力・表現力の習得とともに、情報活用能力や言語能力などの「非認知能力」として児童のもつ潜在能力を引き出し、児童に10年先の予測困難な社会で通用する「生きて働く力」を身につけさせる。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善や指導の工夫等の研究を行っている。本市の重点支援校4年目にあたり、授業支援・学力調査分析・研修会、メンター研修会、スクールアドバイザー・学びコラボレーターの支援等、本市や各団体主催の研修会を活用しながら、若手や教員全体の資質・能力の向上に努める。児童が「できた・わかった」と実感できる授業づくりができるよう研修のしくみを充実・発展させる。
- ③ 児童数20名前後の少人数授業の実施を「強み」として、学級担任・特別支援担当・学びサポーター・特別支援サポーターによるきめ細かな指導ができていて、「チーム学校」としての協働した授業づくりを進め、どの児童に対しても等しく指導ができるように、個別の児童の連携を工夫している。また、「個別最適な学び」を必要とする児童に対しては、安心して学習できる新たなシステムを工夫や整備していく必要がある。
- ④ 毎週の英語や読書タイム等による基本的な学習習慣の定着や教科担任制等の指導形態の工夫に努め、学習内容の充実を図っている。小学校学力経年調査においては、昨年同様、本市平均を前後する結果となり、学力に安定感が感じられる。しかし、新5年算数・新6年以外が本市平均を下回っており、繰り返し学習や習熟度別授業等を充実させる。
- ⑤ 体験的活動や言語活動を積極的に取り入れた授業づくりを行うことで、興味関心を喚起させ、その中で「発表する力や書く力、集団で活動する力」を身につけさせるように取り組んできた。また、「ハンドサイン」や「話型」の発表等を活用した指導やグループ工夫を行った結果、多くの児童がしっかりと発表できるようになり、活発な発表や内容の充実が図られており、更なる工夫改善を行い充実させる。
- ⑥ 家庭学習の習慣化をめざし、毎日の宿題の習慣化と点検、保護者に学校だよりや懇談を通じて推進している。家庭で復習や他の勉強をする児童は74.2%(思う44.0%)で、その割合はまだ高いとは言えない。学校HPなどを有効活用し、保護者がより学校教育活動に関心を持ち、家庭学習の大切さに関する啓発や呼びかけを行う。
- ⑦ なわとび週間やかけあし週間、学級単位の「みんな遊び」の取り組みや「放課後の校庭開放時間の延長、遊具の改善や新たな運動用具の学級配付」など、運動能力向上のための取り組みにより、多くの児童が外へ出て身体を動かすようになってきており、健康・体力の保持増進を図る生活態度が身についている。昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において新6年男女で握力や上体起こしなど大阪市平均を上回ることができたが、50m走やシャトルランなどで課題がある。コロナ禍の影響や家庭環境等により、運動の機会が少ない児童も見られ、運動環境の整備や年間を通じた体力向上をめざし、実施時期や内容に、工夫を加えて取り組む必要がある。
- ⑧ 定期的に行う「手洗いがんばり週間」などを実施することにより、健康・衛生面の意識が向上している。栄養指導や日々の給食指導で、食への関心が高まり給食のおかずを残さず食べるようになってきた。朝食抜きの児童に対して指導し、家庭への啓発を行う。



### 【学びを支える教育環境の充実】

- ① ICT 機器(学習者用端末・教職員用端末・大型テレビ等)・デジタル教科書などを有効活用した「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業研究を学校全体で取り組み、わかりやすい授業づくりに努めている。また、学習者用端末を活用し、毎朝の「心の天気」の入力をはじめ、デジタル教科書を用いた授業や発表ノートやグループワークを取り入れた授業、調べ学習など児童にとって必要なツールとして定着している。本年度も学習者用端末で、考えをまとめたり発表をしたりする授業場面を増やす必要がある。
- ② ゆとりの日を週 1 回設け定時退勤を促すこと、学校閉庁日を設定すること、行事の見直しや会議の精選を行うことで、長時間勤務の解消を図ってきた。本年度は、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を増やし、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準を満たす教員の割合を増やす。
- ③ 地域の図書館より、学期に 1 回の学級図書の貸し出しを行い、読書推進委員会発行の読書ノートを活用し、読書活動の充実に努めている。さらに、「平林んぶん」の部屋など新聞に触れる機会の充実に努めている。しかし、読書が楽しみな児童は 86%（思う 68%）で、読書ノートの目標とする冊数に届く児童は少なく、新聞を読む児童も全国学力・学習状況調査では全国平均を下回っている。
- ④ さざんか平林協議会と協働してカリキュラム連携を推進する。地域や行政などの社会関係資本を活用し、PTAを活性化して地域が企画する取り組みを「総合的な学習の時間」等のカリキュラムとして学校に組み込み、学校と保護者・地域・行政とのコミュニティづくりの中で、豊かな人間性と人権感覚を育む
- ⑤ 花ボラ活動・人権の花・読み聞かせ・盆踊りの練習・地域清掃活動など、保護者・地域とも連携した取り組みを行い、学校教育活動を地域・保護者に公開している。学校HPを活用し情報発信に努めてきた結果、閲覧件数も大幅に増え、地域・保護者にも浸透しつつある。今後も一層の情報発信に努めるとともに、児童の健全育成のために行政や平林地域、こども園・保育所・隣接の小中高等学校との連携を深める。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

○よりよい学校生活をおくるために、基本的な生活習慣の確立を図り、令和 7 年度末の児童アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目と「すすんであいさつをしている」の項目について、「守っている（どちらかといえば守っている）」と答える児童の割合をともに 90%以上にする。

（基本的な方向 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 90%以上にする。

（基本的な方向 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○令和 7 年度末の児童アンケートにおける「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」の項目と「学校では命の大切さを学んでいる」の項目について、「学んでいる（どちらかといえば学んでいる）」と答える児童の割合をともに 90%以上にする。

（基本的な方向 2 豊かな心の育成）

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることで、令和7年度全国学力・学習状況調査において、国語・算数の正答率を対全国比 97%以上にする。また、令和7年度の小学校学力経年調査4教科合計を対象に、全ての学年で対市 100 以上にするとともに、国語・算数において2学年以上で大阪市平均またはそれを上回るようにする。

（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○漢字検定（3～6年）の合格率をともに 80%以上にする。（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善を行い、令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「できている（どちらかといえばできている）」と答える児童の割合を 85%以上にする。（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度末の児童アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強している」の項目について、肯定的回答の割合を 70%以上に、保護者アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強をする習慣が身についている」の項目について、肯定的回答の割合を 60%以上にする。（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を 1 以上にする。（基本的な方向5 健やかな体の育成）

○令和7年度末の児童アンケートにおける「すききらいせずに食べている」「朝ごはんを毎日食べている」の項目について、肯定的回答を 90%以上にする。

（基本的な方向5 健やかな体の育成）

○令和7年度末の児童アンケートにおける「遊び方や場所を工夫して安全で元気に遊んでいる」「手洗いをしっかりするなど、健康に気を付けている」の項目について、肯定的回答の割合を 85%以上にする。（基本的な方向5 健やかな体の育成）

### 【学びを支える教育環境の充実】

○体験的学習や外部人材の積極的活用・ICT 機器や図書館の有効活用により授業改善を行い、令和7年度末の児童アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」「学校での読書を楽しみにしている」の項目について、肯定的回答の割合を 85%以上にする。

（基本的な方向6 教育 DX の推進）（基本的な方向8 生涯学習の支援）

○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 95%以上にする。教員の勤務時間に関する基準の月 45 時間・年間 360 時間を超えない教員の割合を 95%以上にする。

（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和7年度末の保護者アンケートにおける、「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」の項目と、「学校は家庭・地域と連携した取り組みを行っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合をともに 85%以上にする。

（基本的な方向9 家庭・地域と連携・共同した教育の推進）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- よりよい学校生活をおくるために、基本的な生活習慣の確立を図り、令和 6 年度末の児童アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目と「すすんであいさつしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をともに 85%以上にする。
- 令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 85%以上にする
- 令和 6 年度末の児童アンケートにおける「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」の項目と「学校では命の大切さを学んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をともに 85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 42%以上にさせる。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 68%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 62%以上にする。
- 基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることで、令和 6 年度全国学力・学習状況調査において、国語・算数の正答率を対全国比 92%以上にする。また、令和 6 年度の小学校学力経年調査 4 教科合計を対象全ての学年で対市 98 以上にするとともに、国語・算数において 1 学年以上で大阪市平均またはそれを上回る。
- 令和 6 年度の漢字検定(3～5 年)の合格率をともに 70%以上にする。
- 「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善を行い、令和 6 年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して「できている（どちらかといえばできている）」と答える児童の割合を 75%以上にする。
- 令和 6 年度末の児童アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強している」の項目について、肯定的回答の割合を 60%以上に、保護者アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強をする習慣が身につけている」の項目について、肯定的回答の割合を 50%以上にする。
- 令和 6 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を 0.9 以上にする。

- 令和6年度末の児童アンケートにおける「すききらいせずに食べている」「朝ごはんを毎日食べている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和6年度末の児童アンケートにおける「遊び方や場所を工夫して安全で元気に遊んでいる」「手洗いをしっかりするなど、健康に気を付けている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

#### **【学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を94%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を94%以上にする。
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回以上実施する。
- 体験的学習や外部人材の積極的活用・ICT機器や図書館の有効活用により授業改善を行い、令和6年度末の児童アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」「学校での読書を楽しみにしている」の項目について、肯定的回答の割合を80%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケートにおける、「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」の項目と、「学校は家庭・地域と連携した取り組みを行っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合をともに80%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括



## 大阪市立平林小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>年度目標</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○よりよい学校生活をおくるために、基本的な生活習慣の確立を図り、令和 6 年度末の児童アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目と「すすんであいさつしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をともに 85%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度末の児童アンケートにおける「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」の項目と「学校では命の大切さを学んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をともに 85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容，取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>○基本的な生活習慣の確立に関しては、すすんであいさつをすることができるように学校・学年・生活だより学校HP等で保護者への啓発を図る。</p> <p>○あいさつ運動においては、児童会が正しいあいさつの見本を見せることで、校内の啓発を図る。また、自発的にあいさつができたかどうかの振り返りをさせることで、意識を向上させる。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>○令和 6 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を、前年度より減少させる。</p> <p>○児童会を中心とした全校をあげた「あいさつ運動」を月 1 回以上実施し、振り返りを行う。</p> <p>○生活だよりを年 10 回以上発行したり、あいさつ運動の様子などを HP に掲載したりするなどして、基本的な生活習慣について保護者への啓発を図る。</p>	B
<p><b>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>○思いやりの気持ちを育むために、学校行事の様々な場面において、他学年との交流を</p>	B

<p>充実させる。</p> <p>○上級生が中心となり掃除の方法を教えるなどの活動を通して、社会性の育成に努める。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>○たてわり班での活動を月に3回以上行う。</p> <p>○道徳科の内容項目「規則の尊重」についての学習を学期に1回行い、ルールや決まりについての取り組みを行う。</p> <p>○学期末にペア学年で大掃除を行う。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>○道徳心や社会性を高めるために、道徳科の学習を教科横断的に取り組み、命の大切さや人権について考える機会をつくる。</p> <p>○人権・平和学習を通して、命の大切さや人権について考える時間をつくり、道徳心や社会性を高める。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>○学校の教育方針を示したお便り（学校だより）を毎月発行する。</p> <p>○令和6年度末の児童アンケートにおける「学校では、命の大切さについて学んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。</p> <p>○学校全体で命の大切さや人権について考える機会として、年に1回以上人権学習の日を設定する。</p>	<b>B</b>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標の達成状況】 進捗状況（B）</b></p> <p>○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」最も肯定的な「思う」を75%以上⇒7月校内調査87.5%（A）</p> <p>○R6 全国学テ「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」最も肯定的な「思う」を85%以上⇒4月全国学テ調査82.4%（B）</p> <p>○不登校児童の在籍比率を前年度より減少 R53月1.7%⇒10月末調査0.0%（A）</p> <p>○前年度不登校児童の改善率 R53月98.3%・R610月100%⇒改善率1.7%向上（A）</p> <p>○「学校のきまり・規則を守っていますか」肯定的に回答85%以上⇒95.4%（A）</p> <p>「すすんであいさつしている」肯定的に回答85%以上⇒93.4%（A）</p> <p>○「思いやりの気持ちを持ち、友だちを大切にしている」85%以上⇒94.5%（A）</p> <p>「学校では命の大切さを学んでいる」85%以上⇒98.4%（A）</p> <p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】について（B）</b></p> <p>児童会を中心に「あいさつ運動」を月1回以上実施することができているが、あいさつ運動の振り返りができていない。児童が自発的にあいさつをできるように学期末にあいさつ運動の振り返りを実施する。また、生活だより等で基本的な生活習慣について啓発を図っているが、学校HPの活用率を上げることで更なる啓発を図っていく。</p> <p><b>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】について（B）</b></p> <p>毎週木曜日に児童集会活動を行ったり、運動会の種目に低・中・高学年で取り組んだりするなど、他学年との交流が充実している。また、道徳科の内容項目「規則の尊重」について学期に1回取り組んでいる。2学期以降も継続して取り組む。</p> <p><b>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】について（B）</b></p> <p>人権学習の日を6月の参観日に設定し、全学年で取り組んだ。また、命の大切さについて</p>

て、道徳科の内容項目「生命の尊さ」の学習だけで触れるのではなく、食育等を通して普段の学校生活でも、平和な生活への感謝の気持ちを持てるように折に触れて伝えていく。

次年度への改善点
<b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b>
<b>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b>
<b>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</b>

## 大阪市立平林小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>年度目標</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にさせる。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を視点にした授業改善を行い、令和 6 年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 45%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 68%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 62%以上にする。</p> <p>○基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることで、令和 6 年度全国学力・学習状況調査において、国語・算数の正答率を対全国比 92%以上にする。また、令和 6 年度の小学校学力経年調査 4 教科合計を対象全ての学年で対市 98 以上にするとともに、国語・算数において 1 学年以上で大阪市平均またはそれを上回る。</p> <p>○令和 6 年度の漢字検定（3～6 年）の合格率をとともに 70%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度末の児童アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上に、保護者アンケートにおける「家庭で復習やほかの勉強をする習慣が身についている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を 50%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を 0.9 以上にする。</p> <p>○令和 6 年度末の児童アンケートにおける「すききらいせずに食べている」「朝ごはんを毎日食べている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度末の児童アンケートにおける「遊び方や場所を工夫して安全で元気に遊んでいる」「手洗いをしっかりするなど、健康に気を付けている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容，取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ○国語科・算数科での基礎的・基本的な学習の充実を図る。 ○学習活動において、チームティーチングやグループ別学習を行い、個に応じた指導の充実を図る。		B
<b>指標</b> ○漢字検定の合格率为 70%以上にする。 ○基本的な計算能力向上を図るため、週に 1 回以上は、授業や学級活動で計算を行う。 ○令和 6 年度の校内調査における「友だちの考えがわかる、ペアやグループ別にした授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。		
<b>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> ○運動能力の向上を図り、運動の楽しさを実感させる教育活動の充実を図る。クラスで外遊びの日を設けたり、遊具・器具の使い方を工夫したりすることで運動の楽しさを実感できるようにする。 ○なわとび週間・かけ足週間を行うことで、基礎的な体力の向上を図る。		B
<b>指標</b> ○令和 6 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。		
<b>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> ○食に関する指導の充実に取り組み、食への興味・関心を高められるようにする。 ○健康で安全な生活習慣を身につけさせる。そのために、手洗いがんばり週間のチェックカード，保健指導を通して、健康や衛生面の意識向上や正しい知識を学ばせる。		B
<b>指標</b> ○栄養教諭による食育指導を各学年で年間 2 回行い、「食育だより」を年 10 回以上配布し、食に関する指導を行うことで、食への関心を高める。 ○令和 6 年度末の児童アンケートにおける「すききらいせずに食べている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 ○手洗いがんばり週間を年 3 回行い、「保健だより」等を年 10 回以上配布する。		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>【年度目標の達成状況】 進捗状況（B）</b> ○経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」最も肯定的な「思う」を 40%以上⇒7 月調査 3～6 年 54.8%（A） ○「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」肯定的回答 75%以上⇒7 月校内調査 84.1%（A） ○経年調査国語・算数対全国比 3～6 年で前年度より 0.02 ポイント向上⇒2 月中旬結果 ○経年調査「理科の勉強は好きですか」肯定的回答 45%以上⇒2 月中旬結果 ○経年調査「外国語の勉強は好きですか」肯定的回答 68%以上⇒7 月調査 81.7%（A） ○経年調査「運動やスポーツをすることは好きか」最も肯定的「好き」62%以上⇒71.7%（A） ○R6 全国学テ正答率 92%以上⇒国語 95.7%（A）算数 89.1%（B）



- R6 経年調査 4 教科合計対市 98 以上⇒国語・算数は 2 月中旬結果
- R6 漢字検定 3～6 年合格率 70%⇒2 月中旬結果
- R6 末児童校内調査「家庭で復習やほかの勉強している」肯定的回答 60%以上⇒7 月調査 71.5% (A)、R6 末保護者校内調査「家庭で復習やほかの勉強をする習慣が身についている」肯定的回答 50%以上⇒7 月調査 56.4% (A)
- R6 全国体力調査体力合計点の対全国比の割合を 0.9 以上⇒1 月中旬
- R6 末児童校内調査「すききらいせずに食べている」肯定的回答 75%以上⇒7 月調査 87.2% (A)、R6 末児童校内調査「朝ごはんを毎日食べている」肯定的回答 75%以上⇒7 月調査 83.7% (A)
- R6 末児童校内調査「遊び方や場所を工夫して安全で元気に遊んでいる」肯定的回答 75%以上⇒7 月調査 93.5% (A)、R6 末児童校内調査「手洗いをしっかりするなど、健康に気を付けている」肯定的回答 85%⇒7 月調査 94.3% (A)

**取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 (B)**

今年度専科制になったため、少人数クラスでの授業は行えていない。しかし、担任や専科の授業に教員やサポーターなどが入り込み、様々な児童への支援は行うことができている。水曜日の朝の学習時間には、各学級で学年に応じた計算プリントや復習プリントなどを用いて学習を進めている。また、100 マス計算に意欲的に取り組んだことで、計算が早くなっている。

**取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 (B)**

これまでは、各クラス「みんなあそび」や体育で、児童が体を動かせるような取り組みを進めてきた。「みんなあそび」では係活動を中心として、クラスの間が遊ぶような工夫をしたり、体育では器械や遊具を使ったりして、児童が興味を持って運動できるような取り組みを行っている。1 学期末アンケート「運動は好きですか？」の項目では、86.3%と目標の 80%を上回った。しかし、昨年度の 12 月のアンケート結果では、91.7%からは下がっている。2 学期は暑さもあり、なかなか外遊びができない日もあったが、これからはクラスでの「みんなあそびの日」を設け、外遊びができるようにしていくことができればと思う。今後は、なわとび週間やかけ足週間を行う予定であるので、さらに児童が「運動が楽しい」と思えるよう取り組みを進めていく。

**取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 (B)**

給食を楽しみにしている児童が多く、食べることが好きな児童も多い。「すききらいせずに食べている」の項目では 87%と目標の 75%を大きく上回っている。苦手な物を食べようとす児童がいる反面、好きな物はたくさん食べるが苦手な物だけ残すという児童もいる。引き続き、栄養指導や給食指導などを通して、好き嫌がなく食べられるように指導していく必要がある。そして、手洗いの大切さについては、手洗いがんばり週間や保健指導を通して、1 学期末のアンケートに 94.3%の児童が「手洗いが大切」と感じているようだ。これからさらに感染症が流行る時期なので、手洗いが病気予防の一步だということを児童に伝えていくことが大切だと考える。

**次年度への改善点**

**取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】**

**取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】**

**取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】**

## 大阪市立平林小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○デジタル教材を活用した朝学習を週 1 回実施する。  学習者用端末を活用した家庭学習を週 1 回実施する。  協働学習支援ツールを用いた学習を週 1 回実施する。</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 94%以上にする。  「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 94%以上にする。</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 94%以上にする。教員の勤務時間に関する基準の月 45 時間・年間 360 時間を超えない教員の割合を 94%以上にする。</p> <p>○体験的学習や外部人材の積極的活用・ICT 機器や図書館の有効活用により授業改善を行い、令和 6 年度末の児童アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」「学校での読書を楽しみにしている」の項目について、肯定的回答の割合を 80%以上にする。</p> <p>○令和 6 年度末の保護者アンケートにおける、「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」の項目と、「学校は家庭・地域と連携した取り組みを行っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合をともに 80%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b></p> <p>○授業を分かりやすくするため、学習活動での ICT 機器の有効活用を図る。  ○デジタルドリルの定期的な活用を図り、各教科の学習内容の習熟を深める。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>○ICT 機器を利用した授業を週 3 回以上行い、令和 6 年度末の児童アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> <p>○学習者用端末を家庭に持ち帰ったときや、学習中に生じた隙間時間にデジタルドリルを週 1 回以上活用して、各教科の習熟を図る。</p>	B
<p><b>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>○業務を分担して円滑に進められるように取り組み、ゆとりの日を活用するなど、時間外勤務を減らす。</p> <p>○校内研修を年間 5 本以上行い、教職員の指導力の育成を図る。</p> <hr/> <p>○週に 1 度、ゆとりの日に定時退勤を心掛け健全なワークライフバランスをとる。</p> <p>○令和 6 年度末の教職員アンケートにおける、「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を 70%以上にする。</p>	B

<div>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</div> <div>○図書館の有効活用を図り、休み時間に実施している図書館開放を継続して行う。</div> <div>○図書室や「平林んぶん」の部屋の利用を促し、図書室の本や新聞に触れ合う機会を増やす。</div> <div>○体験的学習や外部人材の積極的活用を行い本物に触れる機会を増やす。</div> <div>指標</div> <div>○「読書ノート」を活用し、1～4年生は年間 100 冊以上、5・6年生は年間 50 冊以上の達成者の数を、20人以上にする。</div> <div>○委員会活動による本や新聞を活用した取り組みを行い、本や新聞に触れ合う機会を学期に1回以上行う。</div> <div>○外部人材を活用した授業を、学年で年1回以上行う。</div>	B
<div>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</div> <div>○学校だよりや学校ホームページを積極的に活用し、学校生活の様子を発信していくことで、家庭と学校の連携を深める。</div> <div>○地域と保護者を交えた学校行事を行い、地域と家庭の連携を深める。</div> <div>指標</div> <div>○各学年、月1回は学校HPに記事をアップする。</div> <div>○令和6年度末の保護者アンケートにおける、「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。</div> <div>○学期に1回以上、地域や保護者を交えた学校行事を行う。</div>	B

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p><b>【年度目標の達成状況】 進捗状況（B）</b></p> <p>○デジタル教材等の朝学習の月次端末活用率 R5 2月 58.1%⇒R6 9月 86.1%（A）  学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施率 9月 86.0%（A）  協働学習支援ツールを用いた学習を週1回実施⇒2月までに実施予定</p> <p>○年次有給休暇 10日以上取得教職員の割合 94%以上⇒10月末 76.5%（B）  教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合 94%以上⇒10月末 81.2%（B）</p> <p>○教員勤務時間基準の月 45時間を超えない教員の割合 94%以上⇒10月末 94.1%（A）</p> <p>○R6 末児童校内調査「学校の授業はわかりやすい」肯定的回答 80%以上⇒7月調査 93.7%（A）、  「学校での読書を楽しみにしている」肯定的回答 80%以上⇒7月調査 85.0%（A）</p> <p>○R6 末保護者校内調査「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」肯定的回答 80%以上⇒88.7%（A）、R6 末保護者校内調査「学校は家庭・地域と連携した取り組みを行っている」肯定的回答 80%以上⇒98.3%（A）</p> <p><b>取組内容①【基本的な方向 6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】（B）</b></p> <p>学習者用端末を毎週水曜日に持ち帰らせ、スタディサプリを課題として提出している。スタディサプリの使用状況は大阪市平均を上回り、児童にICT機器を使つての学習の習慣が身につつつある。学習の振り返りを大切にする事で「学校の授業は分かりやすい」の項目では、90%を超えることができています。また、心の天気も2学期からは一日の活用率が80%を超え、こちらも習慣化に成功しつつある。</p>

**取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】（B）**

ゆとりの日を週に1回設けることで、時間外勤務削減への意識付けができており、45時間未満となっている。また、校内研修は、「ICT 機器活用研修」「不祥事撲滅研修」などを行い、「総合的読解力研修」なども予定されている。「校内研修は充実していたと思うか」の項目では、80%を達成している。しかしながら、校内研修で全員が参加できていないことがあるので、全員が参加できるように予定をしっかりと周知する必要がある。

**取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】（B）**

図書新聞委員会がお昼休みに図書室を開放することで、子どもたちはいつでも本に触れられる環境を整えている。また、給食の時には、図書室の本を紹介したりクイズを出したりして、興味が高まるような取り組みも行っている。読書ノートの記入を子どもに任せてしまっていることがあるので、進捗状況を定期的に把握する必要がある。

地域の会館で育てている「サクランボ」「ビワ」の収穫体験、田植え・稲刈り体験など、地域を交えた取り組みを行ってきた。また、2学期には「お茶会」「防災訓練」など地域と保護者を交えた行事の計画も進んでいる。

**取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】（B）**

ホームページでは、行事や給食の献立など、学校の様子が分かる記事をアップすることができている。特に、ミマモルメのメール配信と組み合わせることで、保護者や地域に学校の情報をくまなく発信することができている。さらに担任外も発信することで、保護者はより多く学校の様子を知ることができると思われる。「学校は、教育方針や教育活動について情報発信につとめている」の項目では80%を達成できている。

**次年度への改善点****取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】****取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】****取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】****取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】**